

# 会 議 議 事 録

会議の 名 称	生命倫理委員会	日 時	平成25年11月21日(木)17:00~18:00
		場 所	大会議室
出席者	委員長：森村統括診療部長 委 員：澤田臨床研究部長、内炭救急部長、柳田診療部長、岩井看護部長、 竹内外部委員、松蔭外部委員 (書記)庶務係長		
議 題 及 び 討 議 事 項			
<p>【当院におけるDuchenne muscular dystrophy患者への病名告知、教育に関するアンケート調査】</p> <p>受付番号：25-23 頁数：1頁～22頁          (申請者：小児科医長 白石 一浩)</p> <p>申請者説明：          &lt;はじめに&gt;Duchenne muscular dystrophy (DMD) 患者の平均寿命は伸び、生活様式も入所施設での生活から、家庭での地元での生活に変化してきた。それに伴い、本人に病名をどのように告知するか、学校での対応をどうするかといった問題が新たに出てきている。</p> <p>&lt;目的&gt;在宅生活をしている患者家族が本人への病名告知についてどのように考えているか、学校でどのようなことが問題と考えているかを明らかにし、今後の対策を考えるため、患者家族にアンケート調査を行う。</p> <p>&lt;対象&gt;当院通院中で、幼稚園、小中学校、高等学校、大学、専門学校に通っている、もしくは、通っていたことがあるDMD患者の養育者</p> <p>&lt;方法&gt;アンケートに記入してもらう。</p> <p>審査内容：          ・個人が特定されない形で発表とはどのように行うのか。          →数値だけしか公表しないことになる。</p> <p>審査結果：承認</p> <p>【当院における小児のレスパイト入院に関するアンケート調査】</p> <p>受付番号：25-24 頁数：23頁～31頁          (申請者：小児科医長 白石 一浩)</p> <p>申請者説明：          【目的】当院でのレスパイト入院の問題点や改善点を明らかにする。</p>			

【対象】 当院小児科でレスパイト入院した15歳以下の小児患者の保護者。

【方法】 アンケート用紙への記入を依頼する。

審査内容：特になし

審査結果：承認

【パーキンソン病および進行性核上性麻痺に伴う嚥下障害、構音障害に対する呼吸筋力強化訓練による介入研究】

受付番号：25-25 頁数：32頁～56頁

(申請者：神経内科医師 富田 聡)

申請者説明：

- (1) 研究目的、対象 「パーキンソン病」に加えて、「進行性核上性麻痺」患者を研究対象に加える。
- (2) 訓練内容 「10回の呼吸を1サイクルとして、5サイクルを1回の訓練」を、「5回の呼吸を1サイクルとして、10サイクルを1回の訓練」とする。
- (3) 副次評価項目に、「流涎スケール(ROMP-saliva scale)」を加える。
- (4) 研究期間 「倫理審査結果通知日から平成25年12月31日まで。」を「2014年6月30日まで。」に延長する。

審査内容：

・これまでの症例数はどれくらいか。

→目標は6例であるが、今のところ5例。今回研究期間の延長も申請する。

審査結果：承認